

2021年1月15日

# 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2020年10、11月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

## 概 要

全国景気	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる
長野県内景気	厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる
10月の生産動向	生産は持ち直している
11月の個人消費	大型小売店売上高は2カ月連続で前年を上回る
11月の公共投資	公共工事保証請負額は6カ月ぶりに前年水準を下回る
11月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を上回る
11月の雇用情勢	有効求人倍率は3カ月連続で前月を上回る

今後は、新型コロナによる所得・雇用環境への影響を注視する必要がある

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

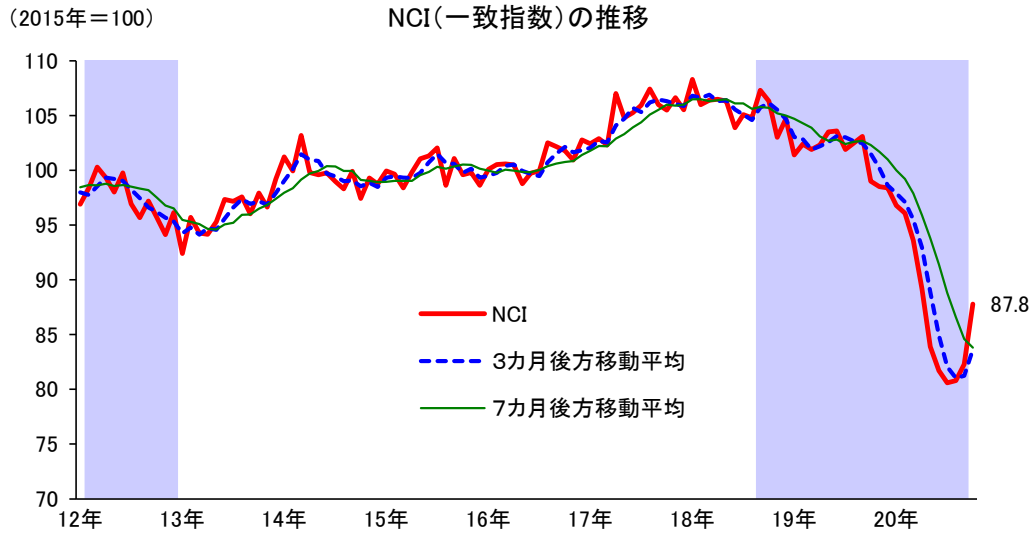
担当 桑井、中村(亮)

電話 026-224-0501

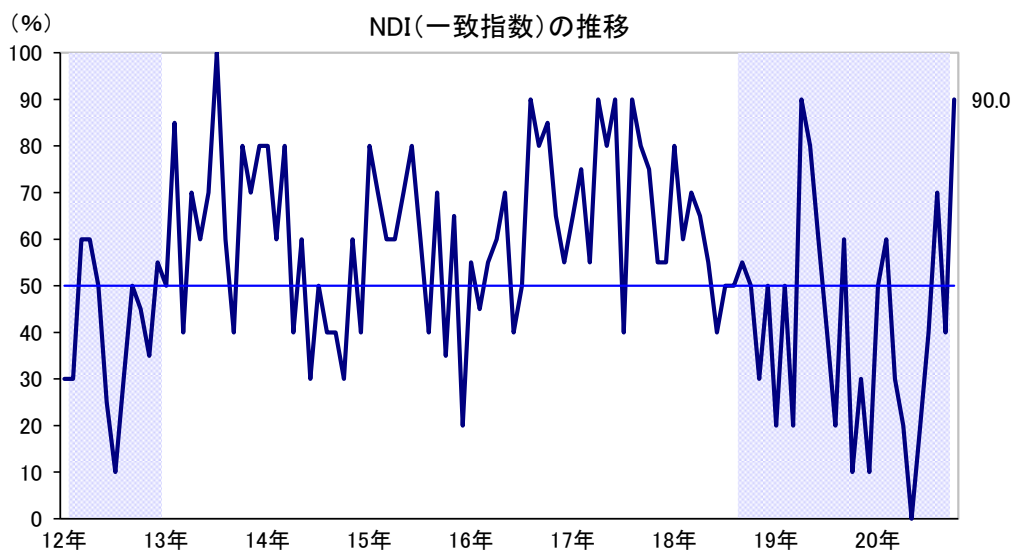


## 景気動向指数

- ・10月のNCI(一致指数)は、87.8と前月と比較し+5.5ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同+2.4ポイントと2カ月連続で上昇した一方、7カ月後方移動平均は同△0.8ポイントと13カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、下げ止まりを示している。
- ・NDI(一致指数)は90.0%となり、2カ月ぶりに景気判断の分かれ目となる50.0%を上回った。



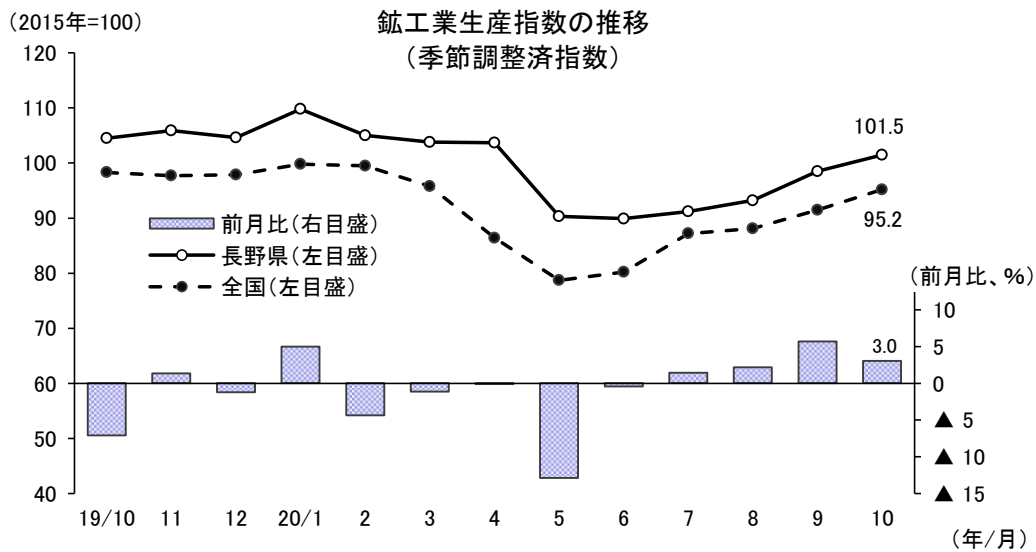
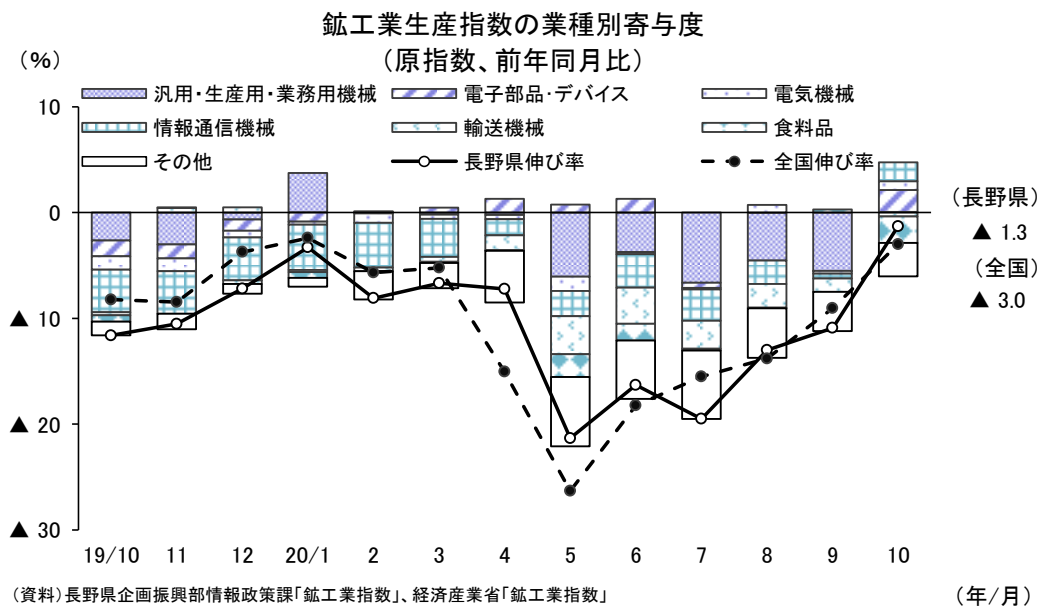
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」  
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す  
 注2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

## 生産は持ち直している

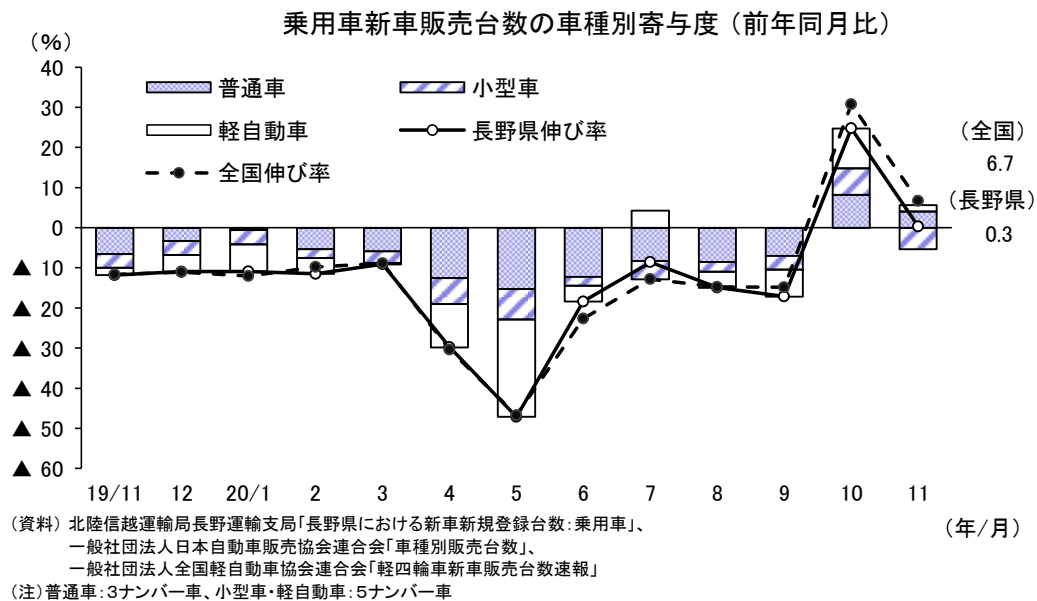
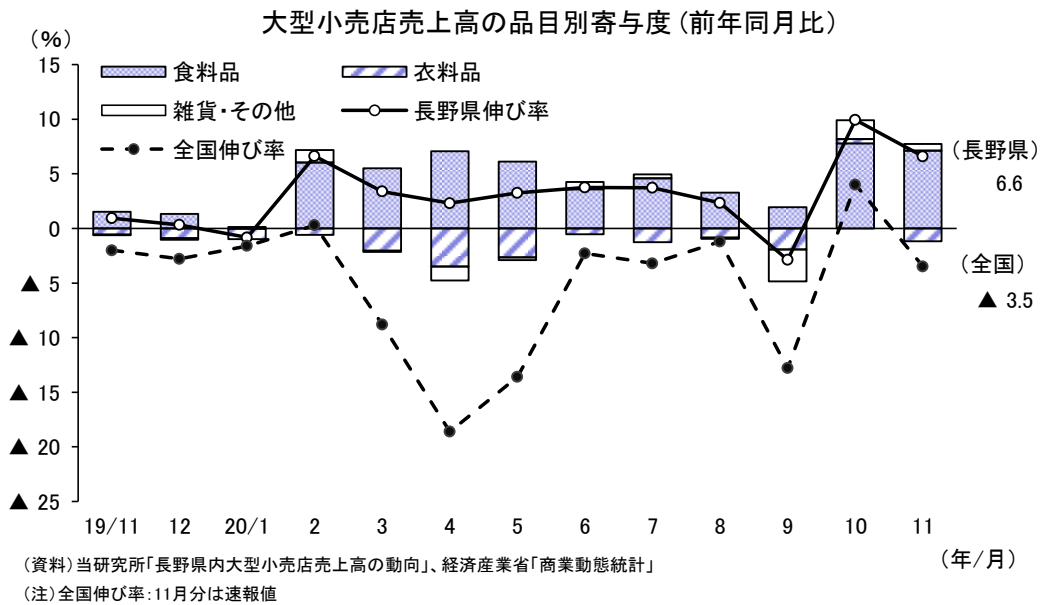
- ・10月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△1.3%、季節調整済指数は前月比+3.0%となった。
- ・原指数は15カ月連続で前年を下回ったが3カ月連続で減少幅が縮小したほか、季節調整済指数は4カ月連続で前月を上回った。依然として新型コロナ前の水準は下回っているものの、国内外での経済活動再開の動きに伴う需要の増加により、生産は持ち直している。
- ・主要業種別にみると、電子部品等の「電子部品・デバイス」や、民生用電子機械等の「情報通信機械」などは前年を上回ったものの、飲料等の「食料品」や自動車部品等の「輸送機械」などは前年を下回った。



(資料)長野県企画振興部情報政策課「鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

## 大型小売店売上高は2カ月連続で前年を上回る

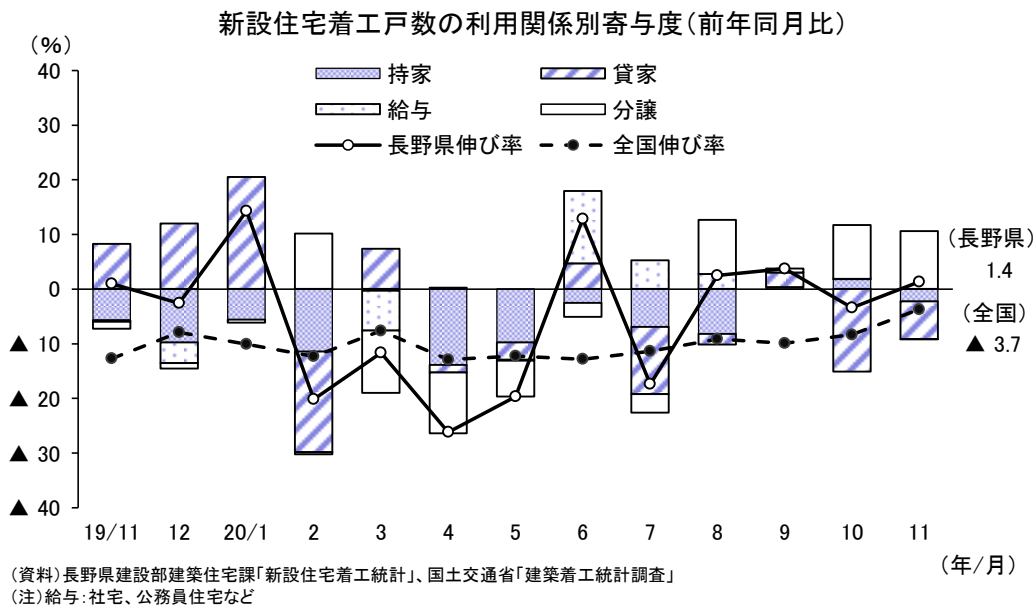
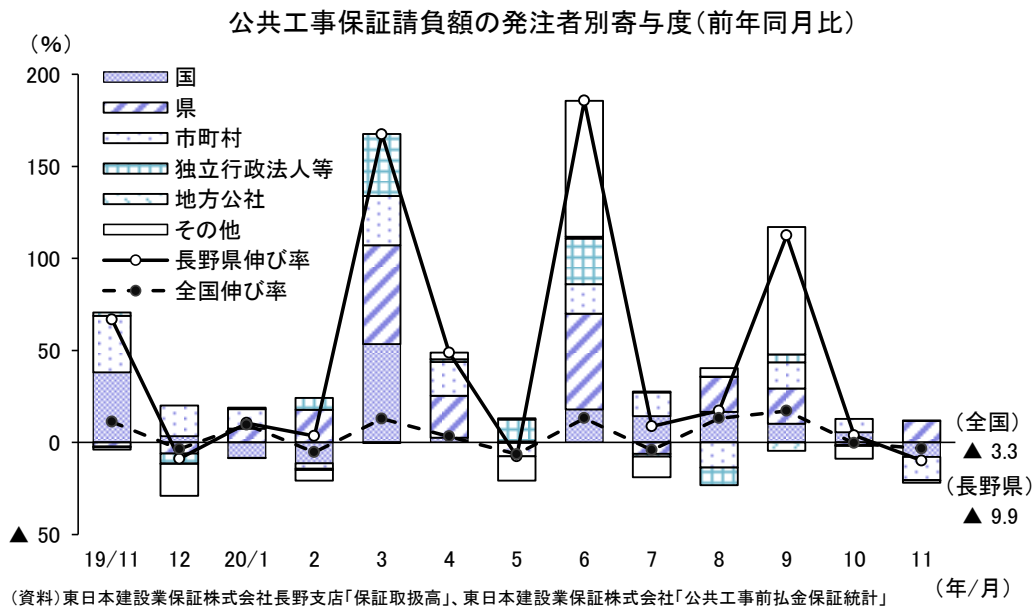
- 11月の大型小売店売上高は、前年同月比+6.6%（売場面積調整前）となり、2カ月連続で前年を上回った。食料品は、新型コロナ感染防止のための内食需要により生鮮食品の売り上げが増加し、同+8.6%となった。衣料品は、外出控えなどによる来店客数の減少で、同△16.6%だった。雑貨・その他は、マスクや消毒液などの衛生用品が好調で、同+6.0%となった。
- 11月の乗用車新車販売は、前年同月比+0.3%と2カ月連続で前年を上回った。人気の車種が好調だった普通車（同+14.1%）と、軽自動車（同+3.7%）は2カ月連続で前年を上回ったが、小型車（同△18.7%）は2カ月ぶりに前年を下回った。



# 建設投資

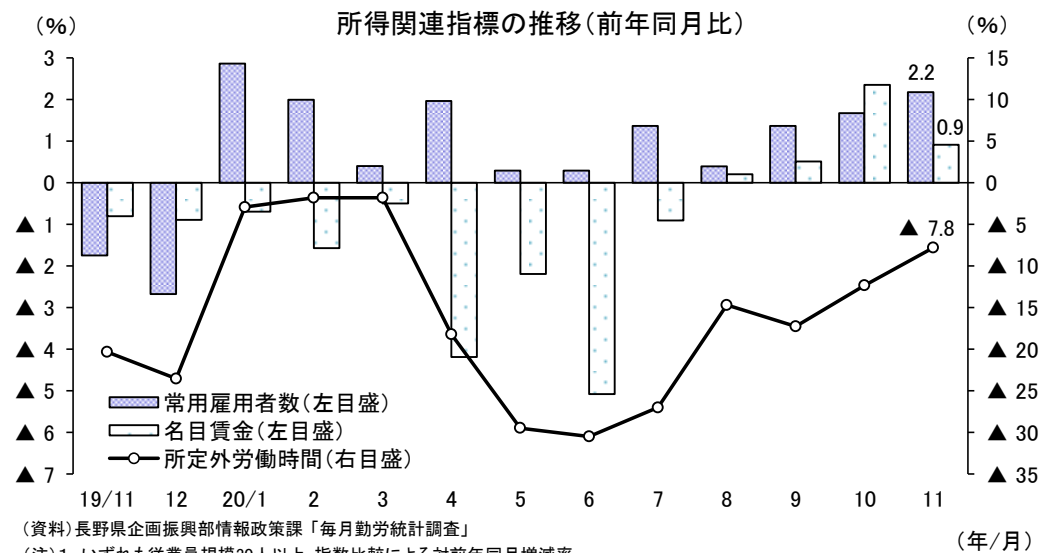
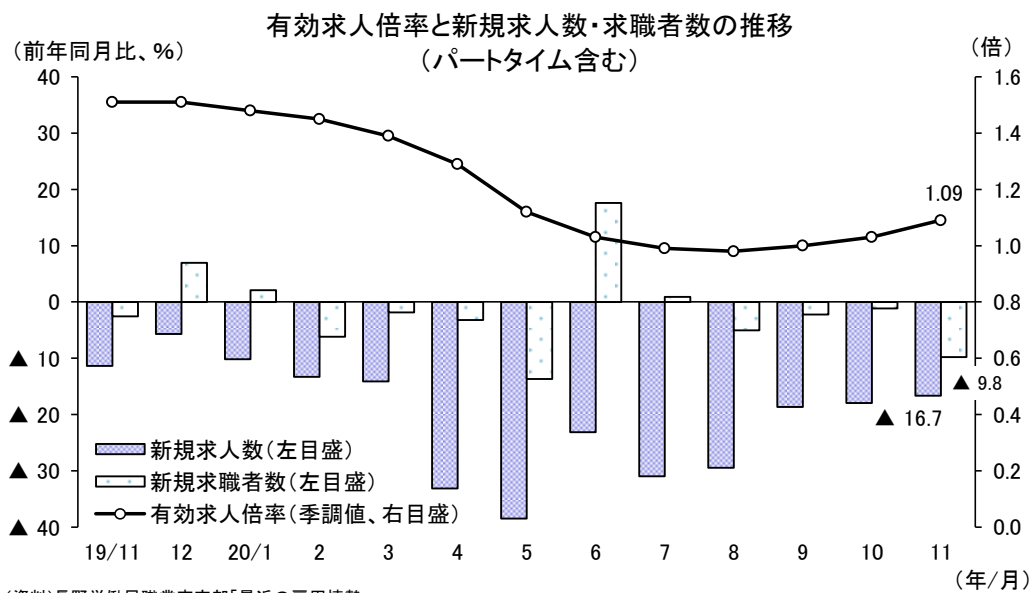
## 公共工事保証請負額は6カ月ぶりに前年水準を下回る

- ・11月の公共工事保証請負額は、前年同月比△9.9%の136億6,000万円となり、6カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、県が同+41.9%と増加したが、国が同△28.2%、市町村が同△30.8%、その他が同△75.5%と減少した。
- ・11月の新設住宅着工戸数は1,044戸で、前年同月比+1.4%と2カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同△4.0%、貸家が同△19.7%と減少したが、分譲が同+121.1%と増加した。



## 有効求人倍率は3カ月連続で前月を上回る

- ・11月の有効求人倍率は前月比+0.06ポイントの1.09倍と、3カ月連続で前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△16.7%となり、21カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△18.8%、パートは同△14.2%となった。産業別では、建設業が同+3.5%、宿泊業・飲食サービス業が同+2.1%、教育・学習支援業が同+0.8%と前年を上回ったものの、製造業が同△15.4%、医療・福祉が同△12.7%、卸売業・小売業が同△11.9%などと前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△9.8%と4カ月連続で前年を下回った。
- ・常用労働者数は前年同月比+2.2%と11カ月連続で前年を上回り、名目賃金も同+0.9%と4カ月連続で前年を上回った。一方、所定外労働時間は同△7.8%と23カ月連続で前年を下回った。



## 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

### 有効求人倍率は8カ月ぶりに全国を上回る

- ・11月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.58ポイントの1.24倍、東信が同△0.41ポイントの1.14倍、中信が同△0.44ポイントの1.13倍、南信が同△0.35ポイントの1.06倍となった。15カ月連続で全ての地域で前年を下回った。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、伊那以外では1倍を超えているが、全ての地域で前年を下回った。
- ・長野県の有効求人倍率は8カ月ぶりに全国を上回り、全国順位は前月から4つ上げ25位だった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(20年11月)

地域	北 信(1.24) (前年同月比▲0.58)				東 信(1.14) (前年同月比▲0.41)		中 信(1.13) (前年同月比▲0.44)			南 信(1.06) (前年同月比▲0.35)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.34	1.16	1.18	1.09	1.08	1.19	1.07	1.45	1.47	1.15	0.96	1.07
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.81	▲ 0.25	▲ 0.44	▲ 0.46	▲ 0.46	▲ 0.36	▲ 0.43	▲ 0.89	▲ 0.42	▲ 0.26	▲ 0.47	▲ 0.32
うち常用	1.25	1.13	0.92	1.06	0.95	1.15	0.97	1.36	0.86	1.02	0.84	1.00
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.56	▲ 0.22	▲ 0.35	▲ 0.42	▲ 0.35	▲ 0.36	▲ 0.36	▲ 1.01	▲ 0.42	▲ 0.24	▲ 0.43	▲ 0.32

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

